

### 新年度国保料改定のお知らせ

土建国保に加入している方へ新年度国保料のご案内を3月9日(土)に発送しました。今月納入分から変更になりますのでご確認ください。

すみだ支部ホームページ  
http://www.doken-sumida.org

〈墨田支部〉



墨田、江東、江戸川合同編集

東京土建一般労働組合  
江東ブロック会議  
江東区北砂1-11-4  
TEL [3640]2411  
発行者 大勝友二  
新聞代は組合費に含まれています 定価30円

## 第61回定期大会告示

- 開催日・場所  
4月7日(日) 西国KFCホール
- 代議員(特別代議員)定数  
3月1日現在の各分会組織人員  
30人につき1人(端数切捨)
- 支部役員定数  
執行委員長 1名  
副執行委員長 若干名  
常任執行委員長 11名以内  
青年・女性・シニアから 各1名  
執行委員(分会長) 8名
- 資格要件  
・組合員資格を有する者で分会の推薦を要する  
・4月1日現在満70歳を超えていないこと  
※シニア・会計監査はこの限りではない
- 立候補受付期間とその方法  
3月26日(火)〜4月1日(月) 正午までに大会事務局に所定の用紙にて届け出る  
支部執行委員長 浅見 英夫  
大会運営委員長 佐久間 輝雄

## 2月23日(土) 曳舟文化センターにて すみだ耐震化フォーラムを開催

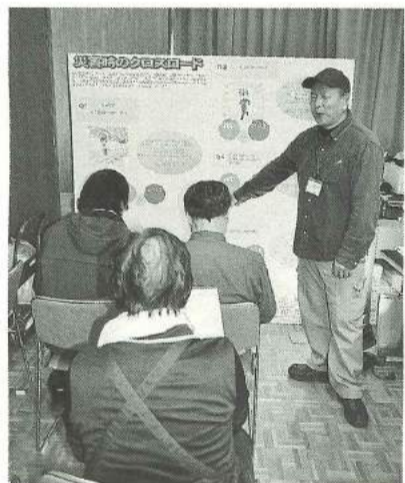
# 盛り沢山の企画で 体験&学習



液状化体験に興味津々

### 災害に対する関心の高さが感じられた

今回で14回目を迎える耐震化フォーラムは、「地震に備える家造り」と「防災・災害」をテーマに多くの方々に親しまれ、地域に定着した取り組みとなりました。この日も会場の曳舟文化センターには、約250名の区民が来場して、メインステージでは、燃



災害時の状況判断を学習

### もしもの時に備えた 体験と学習

メインステージ以外に会場内には、もしもの時に備えた体験や学習が出来る様々な出展ブースを用意。消防署によるAEDを使った心肺蘇生体験、食物アレルギーなどで災害時に食に配慮のいる方に向けた非常食の展示。墨田支部からは「自主防災組織ハンマーズ」が水槽でおこなう液状化体験。災害時に迫られた難しい状況判断を学習。また、「すみだ建築センター」による区の助成



当時の貴重な話をしてくれた小幡さん(左) 浦谷さん(右)

### 国保組合から重要なお知らせ 2019年度 就業実態調査について

2019年4月から土建国保に加入している方を対象に就業実態調査をおこないます。今回は個人事業主・一人親方(保険料区分:第1種・第2種)の方全員が対象となります。建設業に働いていることを確認できる書類として確定申告書のコピー等の提出が必要となりますので、確定申告書提出後の(控)コピーを保管しておいてください。調査対象の方には後日、支部または所属の群長さんから連絡させていただきます。またご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

連絡先 03-3614-3806

暖かくなり、春の訪れが少しずつ感じられるようになってきました。▼過ぎしやすくなる一方で、花粉症で苦しむ人達にとって、つらい時期がやってきました(私も毎年悩まされています)▼花粉の量は、前年の夏の気温や日照時間によって予測され、昨年の夏は記録的な暑さだったため一部では平年の2倍以上になると言われています▼花粉症は、スギやヒノキなどの花粉が原因となるアレルギー性の病気▼体内に花粉が侵入して、接触を何度か繰り返すうちに体内に蓄積されて一定の水準に達したときに発病▼花粉が体内に侵入すると鼻や目の粘膜にある肥満細胞から放出されたヒスタミンなどのアレルギー症状をおこし、くしゃみで飛ばす、鼻水で流す、鼻詰まりなどの症状が出ます▼花粉症には体質の個人差があり、今は平気でも今後、発症する可能性があります▼吸ってきた量が関係するそうです▼この時期は毎朝「花粉情報」をみては頭を悩まされているばかりです。

# 第61回定期大会基調報告

## 1. 昨年度の取り組みと今年度の課題

### (1) 産業と地域に働きかける

東京土建は産業別個人加盟の居住地組織として、都内36の支部が活動しています。墨田支部は60年の歴史のなかで、暮らしや営業、社会保障や税に関する組合員の要求

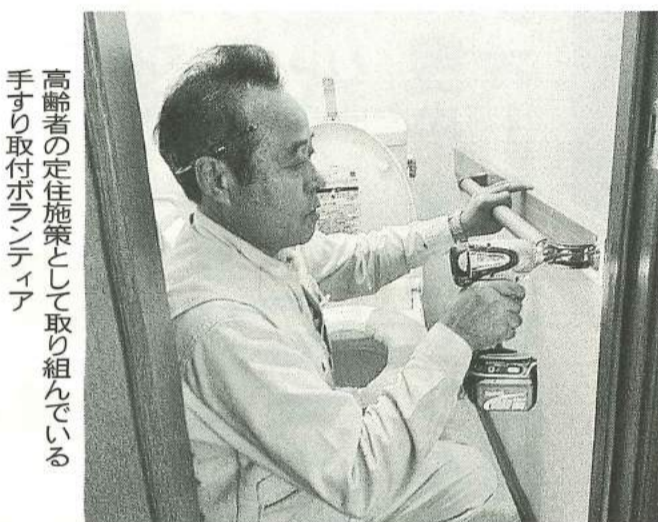
### 1) 中心的な分野となる産業対策

労働対策は、仕事対策として、仕事・技術は組合員の生活原資になる



地域とのつながりを深める住宅デー(舟原公園)

労働対策は、仕事対策として、仕事・技術は組合員の生活原資になる。営業や技術に直結した課題への対策であり、賃金・労働は労働力の正当な評価、労働者・中小零細事業主の安全衛生に関わる対策を進める分野となります。4つの分野は中小建設従事者の生活と権利に密着し、有機的な関係にあり、地域支援や災害対策との連動も認められます。



高齢者の定住施策として取り組んでいる手すり取付ボランティア



地元建設組合を大きくアピールした住宅まつり

①仕事対策・技術対策の取り組み結果  
産業と地域に対し働きかけを続ける組合運動としての仕事対策活動は、地域住民との合意・自治体との信頼関係を前提に、結果としての仕事確保を進めてきました。

地域への働きかけと本部への申し込み、社協を軸に民生委員やケアマネージャーからの発信を通じて、本来必要な高齢者へ手すり取付ボランティアを届けました。

技術対策では、講習活動を通じて技術技能の向上と学習機会を継続しました。反省点を次に活かす雰囲気

「マンネリ感」「意欲減退」の意見もありますが、深い内容が記されています。「新築を依頼する業者」については30・8%が「大手住宅メーカー」と回答し、その理由は64%の人が「信頼できる」として回答しています。

地域への働きかけと本部への申し込み、社協を軸に民生委員やケアマネージャーからの発信を通じて、本来必要な高齢者へ手すり取付ボランティアを届けました。



建設キャリアアップシステム学習会

### 女性の会総会のお知らせ

第48回女性の会総会を下記の通り開催します。総会後は、みんなで弁当を食べながらランチ会。折り紙教室や、防災グッズの販売も行います。参加希望の方は主婦の会分会役員、または支部主婦の会担当までお申し込みください。

日時：3月31日(日) 午前10時開会  
場所：墨田支部会館2階  
参加資格：女性の会会員

支部女性の会担当書記：出雲

(2面から続く)  
自治体要請行動を取り組  
みました。行動の柱は公  
契約条例制定と入札制度  
改善、安全安心なまちづ  
くり、住まいづくりです。

墨田区の発注する官公  
需受注の増加も民間工事  
への波及につながり、墨  
田支部が長年にわたる地  
域と産業に視点を置いた  
活動の到達を示していま  
す。中小企業・小規模事  
業者である墨田支部組合  
員の受注機会の確保につ  
ながることからも、19年  
度も区民・自治体へ安心  
安全を届けていきます。

また組合員の営業に直接  
関わる業務を提供し、事  
業の充実に向けていきま  
す。

④賃金対策・労働対策の  
取り組み結果  
国土交通省方策201  
1以降、一人親方を含む  
建設従事者の処遇改善を  
目的とした建設従事者安  
全健康確保法(建設職人  
基本法)に至る流れは、  
担い手育成を基本として  
います。しかし公共工事  
設計労務単価の相次ぐ引  
き上げが続くにもかかわらず、  
十分に浸透していない法  
定福利費の請求要求、誤  
解に基づく社会保険への  
移行強要、厚生年金加入  
への理解不足など、建設  
産業に関する様々な懸念  
により当初予定していた  
処遇改善は進んでいま  
せん。さらに建設労働に  
関わる情勢にある新たな課  
題が建設産業に向けられ  
ています。

こうした情勢のなか、  
43の要望・質問で昨年の



毎年大賑わいのキラキラ橋商店街の夜市

17年第一回定例会予算  
特別委員会での山本区長  
発言以降、理事者側の動  
きは鈍く、低空飛行とな  
ります。こうした状況を  
打開するため、墨田支部  
は全建設連墨田区協議会  
の一員として、様々な働  
きかけを続けました。そ  
の戦略と戦術には、今年  
の一斉地方選挙までの逆  
算がありました。

政治判断で現場調査を  
取り止めながらも、支部  
60周年記念式典、事実上  
の4者懇となった庁舎内  
学習会、初となる交渉3  
会派それぞれとの意見交  
換会、そして公契約の課  
題だけでの3度にわたる  
区長懇談、です。区議会  
と建設アスベスト訴訟運  
動の歴史的な勝利の年と  
なりました。

職業病労災認定では、  
一人親方などの労働者性  
や職業病労災認定の際に  
必須な職歴・作業歴の記  
録を当事者と墨田支部の  
掘り起しによる確認作業  
を進めました。特に東京  
土建国保組合と共にアス  
ベスト関連疾患の発症予  
備軍の掘り起し、早期発  
見早期治療につながる取  
り組みが大切になりまし  
ます。労災認定を得るため  
にも専門医の受診勧奨を  
進めました。



区議・職員を対象に庁舎内の公契約学習会



事業主向け「36協定」学習会



私たちの想いを込めて  
請願行動

低建協の活動の具体化に  
ついて進めていきます。  
保など労働災害を根絶す  
るための啓発活動、向島  
外手児童館工作教室(本  
会(耐震協))  
①墨田区耐震化推進協  
議会(耐震協)  
17年1月からの北部地  
域全体に緊急対応地区が  
拡充され、墨田区によ  
れば徐々に耐震改修助成  
申請数が増えています。  
拡充された内容は、区民  
要求を背景にした墨田支  
部、耐震協の要望が反映  
したものの一部です。区



毎月楽しく開催している街  
かど食堂(キラキラ茶家)

2) 地域支援対策の  
活動と今年度  
地域支援対策は、区民  
内の状況変化と自治体と  
の信頼関係を構築してき  
た歴史から、墨田支部は  
所属組合員自身の積極的  
な参加と制度利用を呼び  
かけてきました。  
家具転倒防止器具・ガ  
ラス飛散防止事業では、  
室内の安全性向上を目的  
に、対象世帯の拡充を求  
めてきました。昨年度要  
望が実現し、ひとり親か  
つ未就学児がいる世帯へ  
の拡充が始まりました。  
耐震改修、耐震化改修、  
家具転倒防止、ガラス飛  
散防止は地域の中小建業  
従事者による制度への参  
加、利活用が求められて  
います。建設産業全体の  
担い手不足のなか、こう  
した利活用を墨田支部の  
すみずみまで広げていく  
ことは、組合への接近、  
事業参加、運動への理解  
へとつながっていきま  
す。緊急かつ組織的な課  
題です。  
さらにこうした地域で  
の実践により、都市計画  
課「都市計画マスタープ  
ラン改定ワークショップ」  
に副委員長・書記次  
長、住宅課「空き家の利  
活用プラットフォーム構  
築会議」へはさわやかネ  
ット理事長・書記次長を

(4面へ続く)

ながらも、建設産業を魅  
力あるものにしていく過  
程を東京土建のなかで共  
有し、利害関係者間の合  
意形成を目指しながら、  
労働報酬下限額、労働報  
酬審議会設置を求め、公  
共事業のなかで賃金を具  
体的に位置づける取り決  
め、墨田らしい公契約条  
例制定に向けた働きかけ  
を継続します。  
法人化を検討する組合  
員への啓発と同様に、新  
設・変更が続く法制度に  
対応した機敏な発信を続  
けていきます。こうした  
深刻な矛盾に直面する組  
合員、その最大の層であ  
る野丁場従事者の組織化  
を進めるため、墨田支部  
PALへの加入を呼びか  
けます。また建設キャリ  
アアップシステムについ  
ては、技能評価との連動、  
必要な情報把握と発信、  
組合員が不利益にならない  
よう、動向を見ながら対  
応していきます。

労働対策では、安全経  
費・工期・労働時間の確  
保など労働災害を根絶す  
るための啓発活動、向島  
外手児童館工作教室(本  
会(耐震協))  
①墨田区耐震化推進協  
議会(耐震協)  
17年1月からの北部地  
域全体に緊急対応地区が  
拡充され、墨田区によ  
れば徐々に耐震改修助成  
申請数が増えています。  
拡充された内容は、区民  
要求を背景にした墨田支  
部、耐震協の要望が反映  
したものの一部です。区

36協定についての学習会  
など、隣接する賃金対策  
専門分野やNPO法人す  
みださわやかネットとの  
連携を通じて、事業主組  
合員の要求に応える内容  
を計画していきます。職  
業病労災認定の分野で  
は、墨田支部は、じん肺  
・アスベスト疾患での労  
災認定を進めていきます  
⑥地域・自治体行事への  
参加  
昨年度も地域・自治体  
からの要請に基づき、地  
域の分会が対応してきま  
した。あつみの里フェス  
ティバル(八広)、仲よ  
し公園あおぞら児童工作  
教室(立二)、緑幼稚園  
工作教室(本一)、フレ  
ンドリー東向島児童館ひ  
がむこまつり(ひぎふ  
ね、中川児童館えんに  
ちひろば(立二)、キラ  
キラ茶家木工教室(会員  
組合員)、社会福祉会館  
夏休み工作教室(八広)、  
すみだまつり(支部)、  
木と暮らしのふれあい展  
(同)、墨田児童館工作  
教室(墨田・ひぎふね)、  
今年度も要請に対  
応していきます。

地域支援対策は、区民  
内の状況変化と自治体と  
の信頼関係を構築してき  
た歴史から、墨田支部は  
所属組合員自身の積極的  
な参加と制度利用を呼び  
かけてきました。  
家具転倒防止器具・ガ  
ラス飛散防止事業では、  
室内の安全性向上を目的  
に、対象世帯の拡充を求  
めてきました。昨年度要  
望が実現し、ひとり親か  
つ未就学児がいる世帯へ  
の拡充が始まりました。  
耐震改修、耐震化改修、  
家具転倒防止、ガラス飛  
散防止は地域の中小建業  
従事者による制度への参  
加、利活用が求められて  
います。建設産業全体の  
担い手不足のなか、こう  
した利活用を墨田支部の  
すみずみまで広げていく  
ことは、組合への接近、  
事業参加、運動への理解  
へとつながっていきま  
す。緊急かつ組織的な課  
題です。  
さらにこうした地域で  
の実践により、都市計画  
課「都市計画マスタープ  
ラン改定ワークショップ」  
に副委員長・書記次  
長、住宅課「空き家の利  
活用プラットフォーム構  
築会議」へはさわやかネ  
ット理事長・書記次長を

(4面へ続く)

